

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社サト一商会 上場取引所 東  
 コード番号 9996 URL <http://www.satoh-web.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古山 眞佐夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤原 督大 (TEL) 022-236-5600  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	37,744	3.9	1,428	7.8	1,640	9.5	1,123	10.0
2024年3月期第3四半期	36,320	10.2	1,325	16.5	1,498	17.7	1,021	17.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,094百万円( 5.0%) 2024年3月期第3四半期 1,042百万円( 20.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	134.77	—
2024年3月期第3四半期	122.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	40,008	26,057	65.1
2024年3月期	37,074	25,313	68.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 26,057百万円 2024年3月期 25,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2025年3月期	—	22.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,430	3.8	1,560	2.1	1,785	1.6	1,245	1.4	149.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	9,152,640株	2024年3月期	9,152,640株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	812,363株	2024年3月期	812,321株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	8,340,315株	2024年3月期3Q	8,340,399株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概要 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概要 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概要

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進む中で、雇用や所得環境の改善が行われている一方、継続した物価の高騰により国内における事業を取り巻く環境は消費者の節約志向の高まりもあり、依然として厳しいものとなっております。また、長期化する不安定な世界情勢、金融資本市場の変動リスクなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。食品卸業界では、原材料や労働コストの上昇に伴う商品価格の値上げや慢性的な人手不足が継続するなかで、消費者の多様化するニーズへの対応も求められております。

このような経営環境のもと当社グループは、2030年を見据え「食をコアとしたマーケティング・ソリューションカンパニー～豊かな食文化と地方創生に貢献する企業へ～」をスローガンとし、「攻めの営業で深耕拡大」を2024年度の経営方針として掲げ、顧客に対して、営業活動を充実させて潜在的需要を引き出し、課題解決に繋がる取り組みを進めております。また、業種別×地域共創に取り組み新たな価値を生み出すことで営業力、商品開発力の強化を行ってまいりました。

この結果、売上高377億44百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益は14億28百万円(同7.8%増)、経常利益は16億40百万円(同9.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億23百万円(同10.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、人流の活発化、円安傾向による旺盛なインバウンド需要などが売上高を押し上げておりますが、食材価格の高騰、人手不足とそれに伴う人件費コストの上昇傾向など当社の顧客を取り巻く経営環境も厳しい状況が続いております。そのような中、当社では、調理の省力化につながる食材や厨房設備等の提案、顧客に選ばれる高付加価値食材の提案などを業種、地域毎に展示会を開催いたしました。特に今回は、新たな取り組みとしてサステナブルフードと食育をテーマに特設ブースを設け、来場者の理解と訴求効果の浸透を図ることが出来、高評価をいただいております。

また引き続き、調理現場の人手不足が顕著なメディカル業種での省力化対応商品の導入が進み、惣菜業種においても物価上昇の影響から節約志向の高まりから外食機会が減少したことや顧客の客単価アップも影響し好調に推移しております。

この結果、売上高325億77百万円(前年同四半期比4.4%増)、セグメント利益(営業利益)は17億88百万円(同10.0%増)となりました。

小売業部門におきましては、来店客数は順調に回復しているものの、消費マインドの回復には足踏みが見られ、物価高騰の懸念から節約志向が高まり、値ごろ感のある商品を求める消費者が増加傾向にあります。このような厳しい状況の中で、仙台市内の店舗においては精肉・青果専門業者のテナント入店を誘致するなどの施策を実施し、集客力を向上させており、一方ではLINE会員向け新コンテンツ「試してランキング」を開始し、スタッフおすすめの商品を紹介し好評を得ております。

また、主要顧客である中小飲食店向けには、顧客のニーズや課題解決に向けた提案会を開催し売上につなげております。さらに、店舗改装の際には、冷凍ケースや空調設備の更新を行い、CO<sub>2</sub>排出量削減など地球環境に配慮した取り組みを継続しております。しかしながら、前年度に出店した新店舗の経費が増加したため、セグメント利益(営業利益)は減少いたしました。

この結果、売上高51億67百万円(前年同四半期比1.0%増)、セグメント利益(営業利益)は2億25百万円(同22.8%減)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の販売実績を業種別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	前年同四半期比(%)
卸売業部門		
製菓業種 (千円)	6,011,561	103.8
弁当給食業種 (千円)	3,357,334	102.1
事業所給食業種 (千円)	2,742,481	100.2
メディカル給食業種 (千円)	4,479,183	107.3
学校給食業種 (千円)	3,081,846	103.7
外食業種 (千円)	6,043,718	103.8
惣菜業種 (千円)	5,936,180	107.0
その他 (千円)	925,074	105.5
計 (千円)	32,577,381	104.4
小売業部門 (千円)	5,167,108	101.0
合計 (千円)	37,744,489	103.9

(注) 小売業部門の業種別は該当ありません。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概要

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ29億33百万円増加し、400億8百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金並びに投資有価証券の増加によるものであります。

### (負債)

負債は、前連結会計年度末と比べ21億89百万円増加し、139億50百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加によるものであります。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ7億43百万円増加し、260億57百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払によるものであります。

この結果、自己資本比率は65.1%(前連結会計年度末68.3%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月13日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,183,539	4,374,905
受取手形及び売掛金	5,145,418	6,346,536
有価証券	8,900,000	8,300,000
商品	2,605,793	3,304,198
その他	586,686	514,055
貸倒引当金	△24,786	△29,589
流動資産合計	21,396,651	22,810,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,119,739	2,031,399
土地	3,589,079	3,589,079
その他(純額)	535,164	776,377
有形固定資産合計	6,243,983	6,396,856
無形固定資産		
	177,664	159,812
投資その他の資産		
投資有価証券	7,555,058	9,016,835
その他	1,712,153	1,633,227
貸倒引当金	△10,667	△8,361
投資その他の資産合計	9,256,544	10,641,701
固定資産合計	15,678,191	17,198,370
資産合計	37,074,843	40,008,475
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,235,890	10,756,120
短期借入金	683,000	683,000
未払法人税等	388,000	155,200
賞与引当金	389,335	211,321
その他	1,647,961	1,765,819
流動負債合計	11,344,187	13,571,461
固定負債		
役員退職慰労引当金	240,494	205,084
退職給付に係る負債	64,498	61,033
資産除去債務	76,461	76,697
その他	35,406	36,563
固定負債合計	416,861	379,378
負債合計	11,761,049	13,950,840

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,744	1,441,744
利益剰余金	23,353,887	24,127,591
自己株式	△999,275	△999,354
株主資本合計	25,202,156	25,975,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,368	57,234
退職給付に係る調整累計額	27,270	24,619
その他の包括利益累計額合計	111,638	81,854
純資産合計	25,313,794	26,057,635
負債純資産合計	37,074,843	40,008,475

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	36,320,298	37,744,489
売上原価	28,363,521	29,392,646
売上総利益	7,956,776	8,351,843
販売費及び一般管理費	6,631,686	6,923,161
営業利益	1,325,090	1,428,682
営業外収益		
受取利息	74,688	100,769
受取配当金	8,587	10,073
持分法による投資利益	21,952	21,439
受取賃貸料	81,029	80,910
その他	21,721	47,215
営業外収益合計	207,979	260,408
営業外費用		
支払利息	1,363	2,060
賃貸収入原価	33,371	46,311
その他	246	—
営業外費用合計	34,981	48,371
経常利益	1,498,088	1,640,719
特別利益		
投資有価証券売却益	1,721	—
特別利益合計	1,721	—
特別損失		
固定資産除却損	2,986	1,385
特別損失合計	2,986	1,385
税金等調整前四半期純利益	1,496,823	1,639,333
法人税、住民税及び事業税	392,506	410,442
法人税等調整額	82,467	104,893
法人税等合計	474,973	515,335
四半期純利益	1,021,849	1,123,997
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,021,849	1,123,997



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,021,849	1,123,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,050	△27,133
退職給付に係る調整額	△3,567	△2,650
その他の包括利益合計	20,482	△29,783
四半期包括利益	1,042,332	1,094,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,042,332	1,094,213
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	31,206,497	5,113,800	36,320,298	—	36,320,298
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,206,497	5,113,800	36,320,298	—	36,320,298
セグメント利益	1,626,419	292,169	1,918,589	△593,499	1,325,090

(注) 1. セグメント利益の調整額△593,499千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	32,577,381	5,167,108	37,744,489	—	37,744,489
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	32,577,381	5,167,108	37,744,489	—	37,744,489
セグメント利益	1,788,984	225,574	2,014,558	△585,875	1,428,682

(注) 1. セグメント利益の調整額△585,875千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	271,785千円	301,706千円